

that

第一集 二〇二二年二月

スクール・リーダー

教育研究会

Worries Brewed

教育を考える一言

Reflection

創刊にあたって

ここに、『教育を考える一言』第1集を刊行します。

これまで生きてきた人生の中で、「教育」について考えさせてくれたのは、どんな言葉でしょうか。誰がどこで、誰に向けて語った言葉でしょうか。誰のどんな一言がきっかけとなり、教育に関心を持ちはじめ、あるいはまた教師を目指したのでしょうか。本誌は、そんな素朴な問いを自らに投げかけて、メンバーそれぞれが教育について考えさせられた大切な一言を取り上げ、考察した論稿集です。

執筆者の多くは、筑波大学大学院教育研究科開設科目「学校教育論」（2011年度）の受講生を中心とする大学院生です。大学院生と一口に言っても、年齢も教員歴も、そして関心も様々で、またとても個性的なメンバーが集まりました。創刊号には、新渡戸稲造や加納治五郎の残した言葉から、ブラックジャックの執刀医、居酒屋店主、部活の後輩、そして恩師の言葉…あわせて31の言葉と、31の個性的な論稿を掲載することができました。

編集にあたっては、網明日佳さん、川野泰和さん、松下加奈さんが、時間を惜しまず作業に取り組んで下さいました。創刊号ということで何も手がかりのない中、3人が中心となり、メンバー全員の協力を得てようやく完成に漕ぎ着けました。心より感謝申し上げます。

本誌を手にした皆さんが、ここに集まった言葉に刺激をうけて、教育について考える時間を持っていただけたら幸いです。ぜひ忌憚のないご意見を頂きまして、メンバー一同の今後の研究活動に活かしていきたいと存じます。

本誌を手にとって下さった皆さん、編集担当の3人、そして執筆者の皆さん、本当にありがとうございます。

2012年2月

代表 荒川 麻里

目 次

未来を変えるのは教育でしょ	阿部 亮輔..... 1
もっと知りなさい	網 明日佳..... 2
時がたって気がついた、自分の原点となっていた言葉	太田 雄二..... 3
間違いを認める場	川野 泰和..... 4
フルマラソンの歩道から	小林 大樹..... 5
やる（努力する）こと	塩原 康裕..... 6
学問は格闘技である	中山 南斗..... 7
ふるさと心を整える	野村 雄大..... 8
未来につながる教育	八巻 昌利..... 9
当たり前のようで当たり前じゃないもの	安曇 樹香..... 10
きくこと	江角 周子..... 11
怒ること、しかること	折笠 紀恵..... 12
一生は一回、生命は一個、輝く生き方をしよう！	鹿兒島 金衛..... 13
解ること、解らないこと	蒲地 光太..... 14
教師の役割を問いつづける	小泉 悠里..... 15
将来を担う生徒として向き合う	鈴木 威一郎..... 16
礼	鈴木 範子..... 17
教育ができることには限界がある	滝田 尚誠..... 18
教師は渡し守	津田 公尚..... 19
謝金、謝礼 ～後輩から学ぶこと～	中村 由貴..... 20
「神様が見てござる。」	松岡 千年..... 21
反面教師から学んだこと	松下 加奈..... 22
研究と教育現場の狭間で	森田 知也..... 23
教育と人間に関する一考察	八木橋 裕司..... 24
無知の発見	梁 京花..... 25
元気ですか？！元気があれば何でもできる。	小笠原 健二..... 26
教育を考えるきっかけ	内田 裕士..... 27
教育格差問題を認識するようになったきっかけ	渡部 侑子..... 28
教育問題と「言説」という視角	鈴木 進悟..... 29
人間の心に不可欠なビタミン	Світлана Ткаченко ... 30
「だんまり」の意味	荒川 麻里..... 31

～編集後記～

今回、「教育を考える一言」を考えて、履修者各自が改めて「自分が教育に関わることになったきっかけ」を再確認することができたのではないかと思います。それぞれが教員、教育研究科を目指した原点がこれらの言葉に隠れていることでしょう。そして、今後本格的に大学院で研究を進めていくにあたって、自分を見つめ直す良い機会になったのではないのでしょうか。

みなさんの「教育を考える一言」を拝見すると、教師からの一言以外にも、漫画や本、ふとした時の一言など、さまざまな場面での一言が取り上げられていました。普段なら聞き逃したり、見逃したりしてしまうかもしれない一言が、その瞬間みなさんの頭の中や心の中に、焼き付いて離れなくなってしまったということでしょう。私たち自身も、日々の多忙さの中で、いつの間にか忘れてしまっていた、そのような「自分の原点」「自分軸」を思い出し、そして過去の自分にハッとさせられました。今回、改めて原点を思い出したことで、「果たして今の自分は、過去のターニングポイントにいた自分から成長できているのか」、「その時の気持ちから何か進歩しているか」と自己問答し、これからのさらなる軸作りが出来たと思います。きっと、この大学院2年間は「教育」を考える2度目のターニングポイントになることでしょう。

表紙には、“Words that Reveal Education”と書かせていただきました。みなさんの思いの詰まった原稿を飾る表紙を考えるというのはとても責任のある仕事でしたが、編集委員で相談し、なんとか完成させることができました。お気に召していただけたら幸いです。「教育を考える一言」の英語表現については、荒川先生とTAのスヴィトラナさんにアドバイスをいただきました。そして、数ある候補の中から“Words that Reveal Education”（教育を表す一言）を選びました。

最後に、この「教育を考える一言」文集が、何かの縁で文集を手にとった方の「教育を考えるきっかけ」になれば嬉しく思います。同じ教育を考える仲間として、今後の教育をともに担えていけたら幸いです。

<2012年2月 編集委員一同>

網明日佳

川野泰和

松下加奈

執筆者一覧 (執筆順)

荒川 麻里	筑波大学大学院人間総合科学研究科 助教
阿部 亮輔	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
網 明日佳	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
太田 雄二	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
川野 泰和	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
小林 大樹	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
塩原 康裕	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
中山 南斗	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
野村 雄大	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
八巻 昌利	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 修士1年
安曇 樹香	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
江角 周子	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
折笠 紀恵	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
鹿兒島 金衛	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
蒲地 光太	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
小泉 悠里	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
鈴木 威一郎	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
鈴木 範子	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
滝田 尚誠	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
津田 公尚	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
中村 由貴	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
松岡 千年	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
松下 加奈	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
森田 知也	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
八木橋 裕司	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
梁 京花	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
小笠原 健二	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士1年
内田 裕士	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物資源科学専攻 博士前期1年
渡部 侑子	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物資源科学専攻 博士前期1年
鈴木 進悟	筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 修士2年
Світлана Ткаченко	筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻 博士後期1年

【編集委員】

網 明日佳(筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 1年)

河野 泰和(筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻 1年)

松下 加奈(筑波大学大学院教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻 1年)

荒川 麻里(筑波大学大学院人間総合科学研究科 助教)

教育を考える一言 第1集

2012年2月 印刷

2012年2月 発行

発行 スクール・リーダー教育研究会
代表 荒川 麻里
つくば市天王台 1-1-1
筑波大学教育学系

印刷所 有限会社 アレス
つくば市筑穂 1-14-2
Tel: 029-877-4888